平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	3	ー	3

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	ホテル日の出岬施設整備事業					
評価者	担当課名		税財管理課	担当係名		管財係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	武藤知憲
事業の概要	運営・サービスの低下を招かないよう施設の現状維持を図りつつ、塩害等による腐食及び経年による設備の老朽化を改善するため、施設整備を実施する。					

全体計画 /単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	4,800 千円
	地方債	4,500 千円
	その他	14,598 千円
	一般財源	56,842 千円
	事業費計	80,740 千円

実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～			
	基本施策	5	観光の振興			
	単位施策	1	雄武観光の売り込み			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	5,321 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	17,000 千円	1,200 千円	4,500 千円
	その他財源	千円	14,599 千円	千円	441 千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	11,550 千円	22,529 千円	126 千円	18 千円	18,900 千円
	合計	11,550 千円	42,449 千円	17,126 千円	1,659 千円	23,400 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	塩害等による施設設備の腐食及び経年による老朽化に対する施設整備	温泉施設の適正管理		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	温泉施設としての適正な維持管理	① 設備改修等箇所件数	目標年度	平成23年度
			目標値	2 件
			実績値	2 件
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	充実した施設整備を図る	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
温泉湯張りポンプ取替工事	塩害による腐食が激しく湯張りポンプの出力低下による流量不足を解消するため取替工事を実施する。
ろ過器制御盤タッチパネル更新工事	ろ過器制御盤のタッチパネルディスプレイの非表示及び操作不能を解消するためタッチパネルを更新する。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	運営・サービスの低下等を招かないよう、施設の現状維持を保つためにも塩害による腐食箇所及び老朽化箇所の整備は必要であると判断する。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	適切な温泉施設を維持するため、計画的に設備改修を進めており、有効であると判断する。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	早期整備のため、修繕費及び維持費が抑制されているため、効率的であると判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	ホテル日の出岬を利用する全ての方が対象であり公平であると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
滞在型観光施設の運営・サービスの現状維持を保つためにも、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
多用化するニーズに対応し、施設を運営するには、設備の維持を保つ必要があり、特に滞在型観光施設としての役割も担うため、効果的かつ効率的に事業を推進する必要がある。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）